

陳 情 文 書 表

平 2 4 陳 情 第 1 号	平成 2 4 年 2 月 2 1 日 受 理
件 名	特別養護老人ホームの建設を求める陳情
陳 情 者	秦野市曾屋 5 6 4 0 番地 長嶋 茂 外 5 2 5 名
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>秦野市において、特別養護老人ホームで介護を受けたいと待機している方が 7 0 0 人以上いると言われていています。</p> <p>「私の叔母さんが老人ホームに入りたいと言って、いろいろと探しましたが、高すぎて、結局、市へお願いしたら、3 2 0 番目くらいですと言われて、7 年半待っていましたが、順番が来ないうちに亡くなってしまいました。家族も本人もつらかったと葬式で言われました。」「うちも頼んで、2 年半待っていましたがそれでも亡くなってしまったよ。」などの福祉をあきらめざるを得ない声をたくさん聞きました。</p> <p>介護保険制度が開始されて 1 0 年以上経過しました。高齢化が進む状況の中で、社会保障制度が後退し、「制度あって介護なし」という状況が秦野市で生じています。</p> <p>私が住んでいる中野自治会で、2 0 1 1 年 1 2 月 1 7 日から 2 0 1 2 年 1 月 3 1 日まで陳情署名をお願いし、一軒一軒、全世帯を訪問したところ、全 3 5 2 世帯中、2 6 5 世帯 5 1 6 人の署名が集まりました。中野自治会内では、特別養護老人ホームの建設の必要性について約 7 5 . 3 % の世帯が賛同しました。</p> <p>つきましては、秦野市が地方自治の役割に立って、特別養護老人ホームへの入所待機者の要望に応え、温かい福祉の街と誇れるように、また、その解消のために特別養護老人ホームを早急に建設してください。</p> <p>陳情事項</p> <ol style="list-style-type: none">1 特別養護老人ホームを早急に建設すること。	